

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	広報区長会事業	会計名称	一般会計		担当課	総務課	
		予算科目	2 款 1 項 3 目	事業番号	100	所属長名	西山安幸
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	赤尾章司	
法令根拠等	伊予市広報区長及び広報委員に関する規則				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	広報区長及び広報委員制度を活用した広報広聴の実施により、効率的かつ効果的に市政情報の発信や民意のちよう達に努めるものとする。						
事業の対象	伊予市広報区長、伊予市広報委員			事業の目的	広報関連業務 (市政に関する施策及びその他広報事項の普及啓発) ・広聴業務 (市政に対する民意のちよう達) の増進参画と協働にかかる研修の実施 (広報区長研修)		
事業の内容 (整備内容)	伊予市広報区長50人による協議会を設立し、各地区の問題事例等の協議を実施するとともに、市からの広報広聴業務について、市内一円で統一した見解のもと事業等を実施している。また、市からの依頼事項についての対応も図っている。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	広報区長協議会において、地域の共通課題などの解決の糸口となること、また広報区長間の情報共有を目的として、事前にテーマを決めて意見交換を開催した。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	19,520	19,898	0	0	0	19,587	広報区長・広報委員報酬	千円	19225	19352	0	19239
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	広報区長研修	千円	0	100	0	15
	県支出金	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0						
一般財源	19,520	19,898	0	0	0	19,587						
職員の人工 (にんく) 数	0.35	0.35				0.35						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,841				7,794						
※ 直接事業費+人件費	22,264	22,642				22,315						
主な実施主体	直接実施。予算額 (広報区長謝金700万円・広報委員謝金1,235万2千円)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		広報区長謝金 (予算額7,000千円) 広報委員謝金 (予算額1,235万2千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計		
					20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000		
成果指標	指標	広報区長協議会定例会に各地区から持ち寄られる持ち寄り議題数			⇒	区分年度	前年度	4 年度	5 年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	民意のちよう達及び行政情報の伝達が広報区長の主要業務であることから、各地区広報区長会から行政に対しての要望等となる持ち寄り議題数を指標とした。				目標	20	20	20	20	20	
	指標で表せない効果	地区が抱える問題を区長会において協議をすることで情報の共有が図れ、市全体として問題解決に取り組むことができる。				実績	3	0				

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			【行政評価委員会委員選定事業】 広報区長協議会役員会において業務量の軽減に関する要望がある。業務の見直しについて、庁内アンケートを実施する。	
			<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定された指標から、広報区長会が事業の目的・内容を達成するための手段として適切であるかどうか判断できない。 ・活動指標に広報区長・広報委員の報酬が設定されているが、広報及び公聴がどれだけ活発に行われているかを測れない。 ・成果指標は過去の実績から考えても、目標値と実情が合っていないのは明らかである。適切な指標を検討すべきである。 ・担い手不足の原因として、制度自体が今の時代にあっていないということが考えられる。行政にとっては便利な制度だが担い手にとっては苦痛となっている現状も認識し、より良い仕組みを検討してもらいたい。 ・行政の一部を担っているという感覚から、あらぬ誤解が生まれても仕方ない。時代に逆行している制度だと思う。 ・本制度はないといけないものではない。今よりも機動力を発揮できるよう、組織的なりニューアルが必要ではないか。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 広報区長へのアンケート結果及び近隣市町、先進自治体の運用実績を検証するとともに、広報区長制度の再構築を検討すること。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	